

平成28年度 第3回社会保険等システム検討委員会 議事録

(平成28年7月29日(金)18時00分~20時00分 ステーションコンファ
レンス東京4F402B)

出席

担当理事：大川 淳、委員長：青田洋一

委員：伊藤淳二、遠藤健司、鈴木秀和(書記)、種市 洋、山田浩司、吉井 俊貴、渡辺航
太

アドバイザー：平泉 裕

欠席

武者芳朗、山縣正庸、

報告事項

(1) 診療報酬改定のシステムについての概説 (平泉アドバイザー)

外科系保険連合(外保連)、中医協、厚労省の関係について

(2) 新規外保連委員

新規社会保険委員(12人：敬称略)

担当理事：大川 淳、委員長：青田洋一

委員：伊藤淳二、遠藤健司、鈴木秀和、種市 洋、武者芳朗、山縣正庸、山田浩司、吉井 俊
貴、渡辺航太、アドバイザー：平泉 裕

外保連委員は以下のとおりとする

実務委員：鈴木、吉井、(遠藤)

手術委員：山田、遠藤、(鈴木)(渡辺)

処置委員：武者、鈴木

検査委員：山田、武者

麻酔委員：吉井

広報委員：山田

()は補佐

各委員業務の概略

実務委員：data を統括し、エビデンスに基づき包括し提出する。新規器械や機器の薬事
申請の際は、保険点数の申請も並行していく必要がある。

手術、処置、検査委員：各医療行為にかかる時間や人件費、材料費などを算出する。5施

設 50 症例の data が最低限必要。

補佐：各委員の業務補佐、委員会への代理出席などを行う

今後は平成 30 年改訂に向けて活動する。12 月までに要望項目アンケートをまとめて、3 月から実務委員会でまとめ、4 月に提出する。

(3) 前委員会業績の総括

試案作成したもの：高度脊柱変形手術、EOS 　いずれも承認されず。

H28 要望項目：新規 1 . 高度脊柱変形手術、2 . 分離修復と歯突起骨折の骨接合術を脊椎固定術に含めること、3 . EOS

改定：1 . 椎間板摘出術 + 高位の違う椎弓切除の算定、2 . 地域連携診療計画管理料の対象疾患の拡大（対象疾患に椎体骨折を包含する）

厚労省に陳情したもの：EOS、地域連携診療管理料の対象疾患に椎体骨折を包含すること。

診療報酬改定結果

1.退院支援加算の対象疾患に椎体骨折を包含

2. 増点されたもの：手術（K116 脊椎、骨盤骨搔爬術 15,610 17,170、K118 脊椎、骨盤脱臼観血の手術 28,210 31,030、K134 椎間板摘出術 K 1 前方摘出術 34,810 40,030、K135 脊椎、骨盤腫瘍切除術 33,290 36,620、K136 脊椎、骨盤悪性腫瘍手術 69,980 88,870、K136-2 腫瘍脊椎骨全摘術 93,300 113,830、K138 脊椎披裂手術 1 神経処置を伴うもの 26,700 29,370、2 その他のもの 16,510 18,990、K139 脊椎骨切り術 52,460 60,330、K142 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む）、2 後方又は後側方固定 29,900 32,890、3 後方椎体固定 37,420 41,160、5 椎弓切除 12,100 13,310、6 椎弓形成 21,700 23,870、K142-2 脊椎側彎症手術 1 固定術 48,650 55,9509）

人件費およびコストとのバランスを見直した結果として増点となったものであり、手術委員は多施設の病院の協力し試案の空欄を埋めていく。

評議員アンケートの実施（伊藤委員）

回答率 14.6%

（４）前委員会からの継続案件の経過報告

保険収載済みで試案未作成：硬膜外自家血注入療法 処置で試案申請および収載済、Condoliase 薬事承認が進行中であり、手術試案を浜松医大松山先生に協力依頼し作成する。

保険収載の可能性のあるもの：頸椎人工椎間板の薬事承認が進行中であり、試案作成する。

試案作成が間に合わなかったもの：陰性モデル作成（患者適合型ガイド）の適応拡大 膝関節で収載済。脊椎への拡大を図る。神戸労災鷺見先生に協力依頼し試案作成する。

評議員アンケートでの要望として PPS があり、また以前から骨移植を伴わないスクリーナー固定の保険請求は混乱しているため、次回の要望にむけ実態調査を行っていく。試案は「S81-0099700(脊椎固定術に対するインストウルメンテーション手技)の内容を改正して対応する。

血腫除去 術後と特発性を区別するのは困難であり、創傷処置で請求可能であり試案は作成しない。

（５）その他

日整会から PELD が申請予定か、確認する。

Coding working group より：外保連試案は部位を明記する方向となった。

処置試案に使用する技術度数の提案：1年ごとに 0.35 上昇へ変更となった。平成 28 年度診療報酬改定の一般病棟用の重症度、医療・看護必要度に係る評価票の中で開頭手術が 7 日間であるが、脊椎手術は骨の手術に内包されており 5 日間となっているのは不合理であり、

今後改正を検討していく。

(6) 審議事項

平成 30 年度改定の要望項目

OPLL 前方浮上術の申請検討

MEP 電極やサージエアトームのバーを償還可能とする。

試案作成実務担当

PPS：吉井先生

人工椎間板：吉井先生

Condoliase：遠藤先生(松山先生と連絡)

陰性モデル：遠藤先生(鷺見先生と連絡)

データベースの構築について

次回の社会保険等システム検討委員会開催は秋頃に於東京とし日程はメールで調整する。

平成30年度診療報酬改定に向けた社保委員会活動スケジュール

平成28年

- 3月 脊椎脊髄病学会 評議員アンケート回収、不合理・矛盾点の意見募集、
- 4月 第1回脊椎脊髄病社保委員会開催（脊椎脊髄病学会）
（次回、要望の候補について検討、28年度結果の不合理矛盾点について）
- 5月12日 第2回脊椎脊髄病社保委員会開催（日整会）
不合理・矛盾点の意見募集締切
- 5月19日 第1回実務委員会（不合理・矛盾点より緊急要望の検討）
（本年度要望書の元となる新設・改正・材料要望項目アンケートについて説明）
- 6月 緊急要望提出
新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼（簡単な内容記載）
試案未掲載項目の各種委員会提出・承認期間
- 7月29日 第3回脊椎脊髄病社保委員会開催（東京）
- 12月 新設・改正・材料要望項目アンケートの締切（簡単な内容記載）
要望項目の調整作業（要望書記載学会の調整）

平成29年

- 3月 外保連・内保連から提出予定の要望項目の記載学会の調整
- 3月 第1回実務委員会
- 3月下旬 要望書記載学会への要望書作成依頼（=新設・改正・材料要望項目要望書のweb入力開始依頼）
- 4月下旬 新設・改正・材料要望項目要望書締切（=新設・改正・材料要望項目要望書のweb入力締切）
- 5月 外保連事務局による校正作業
- 6月上旬 外保連総会にて承認（3月総会の要望項目承認開催しない場合もある）
- 6月中旬 厚生労働省へ要望書（製本なし）を持参し陳情に伺う
- 7月 （要望書として製本する場合は製本し、関係方面に配布）
- 8月～9月 厚生労働省によるヒアリング実施（未定）